

令和3年度 武蔵野市地域自立支援協議会 地域生活支援拠点部会の活動報告

【全 体】

- (1) 当部会の今年度の運営方針を以下のように定めた。

部会は、武蔵野市における地域生活支援拠点等の機能をどう展開させていくべきか、モデルを作り親会に提案する。そのために、①地域アセスメントを通して5つの機能の現状と課題を明らかにする。②他地域の実践例の検証を通して武蔵野市に適したモデルを作る。モデル作りにあたっては、今まで無かったものを新たに立ち上げるのではなく、既存のネットワークや社会資源を活用する方向を探る。

この方針の下、拠点事業の5つの機能についての「武蔵野市の現状や課題」「あるべき姿」についてワークショップ等行い議論を深めた。また、他の自治体の調査として12月9日に国分寺市の基幹相談支援センターに6名で訪問しヒヤリング調査を実施した。

- (2) 委員どうしでお互いの所属事業所を訪問するなど委員の現場を視察することで武蔵野市内の社会資源について共通理解を図ることができた。
- (3) 武蔵野の現状や、全国の自治体の実践例の調査収集等を通して、拠点事業に関する「あるべき姿」、そして、武蔵野市における拠点事業の全体イメージ等について論点整理を行うなど、今後の提言づくりのための議論の土台作りを行うことができた。

【部会の活動】

《第1回 8月24日（火）》

○地域生活支援拠点事業の目的や事業内容等について理解を共有する。拠点事業は地域で安心して暮らすことのできる支援、すなわち「居住支援」が要となる。

《第2回 10月26日（火）》

○拠点事業についての論点整理と当部会の運営方針の確認。地域資源マップ資料の提案、対象別拠点機能アセスメントの確認。わくらす武蔵野の事業紹介、委員の事業所への訪問ヒヤリング企画について意見交換。

《第3回 12月2日（木）》

○他自治体のレポート（三鷹市と国分寺市の事例）。グループに分かれ「緊急」「体験」「相談」の現状・課題・あるべき姿について討議する（グループワーク）。

《第4回 1月13日（木）》

○国分寺市基幹相談支援事業の視察の報告。グループに分かれて「相談」「専門的人材育成」「地域の体制づくり」の現状・課題・あるべき姿について討議する（グループワーク）。アンケート調査について意見交換。「私の推し拠点」の報告。

《第5回 2月17日（木）》

○今までの検討された資料や意見を整理してまとめていくためのディスカッション。今後の調査活動について次回検討。いまずぐできることとして、武蔵野市の拠点事業の全体イメージを作成する予定。

《第6回 3月17日（木）》予定

○武蔵野市における拠点事業のイメージ図。今後の調査活動について。今年度活動の総括。

【今後に向けて】

- (1) 市内事業所等への調査
- (2) 武蔵野市における拠点事業のイメージ図の作成
- (3) 研修の企画
- (4) 中間まとめ（提言案）の作成